

令和3年(2021年)6月4日
財務部財政課

歳入確保戦略(素案)に関する意見募集の結果について

令和3年(2021年)4月30日～5月20日に実施した意見公募手続の結果は下記のとおりです。

(1) 集計結果

(1) 提出方法別提出人数と意見件数

	提出方法	提出人数(人)	意見件数(件)
1	郵便		
2	ファクシミリ		
3	電子メール	1	7
4	所管課への直接提出		
5	その他		
	合計	1	7

(2) 市民等の区分別人数

	市民等	提出人数(人)	意見件数(件)
ア	市の区域内に住所を有する者	1	7
イ	市の区域内に事務所等を有する個人及び法人等		
ウ	市の区域内に存する事務所等に勤務する者		
エ	市の区域内に存する学校に在学する者		
オ	市税の納税義務者		
カ	意見公募手続に係る計画等に利害関係を有するもの		
	合計	1	7

(2) 提出意見の概要と市の考え方

No.	該当箇所	提出意見の概要	市の考え方
1	1章 策定の目的	<p>目的だけでなく、目標値を記載する必要があると意見します。</p> <p>定性的な目標ではなく、定量的な何をいつまでにどれぐらいと明確な数値目標に対して戦略策定を行うほうが具体的な戦略が立てることができるので定量的な目標が必要と考えます。</p> <p>定量的な目標に対し、優先度やアプローチ（達成する筋道や方法）を検討し、マイルストーン（目標達成までの定性的または定量的な途中目標）を設定して計画を立てる必要があると考えるので、定量的で効果的な目標を設定することを意見します。</p>	<p>このページには目標値を記載していませんが、P5（全体の目標）及びP6以降に個別の戦略目標を設定し、取組期間内に目標を達成できるよう進行管理を行っていきます。</p>
2	P3,P5の表	<p>表がわかりにくく、理解できない。</p> <p>現状と課題設定について再考すること。</p> <p>1. 表から読み取る内容について、記載の表では全体的な減少傾向や将来の見通しが読み取れないので、中長期（中期：5年、長期：10年～）を考えた場合、何を底上げすべきか？どこを重点的に対処すべきかが読み取れません。戦略の対象期間を考慮すると中長期を見据えた課題と分析が必要と意見します。</p> <p>2. 分析は他市と比べて多いもの、少ないものを記載してありますが、中長期を見据えた分析を行う必要があると意見します。他市と比較より、これまで、今後の時系列分析（予測）を行い課題を抽出し本質的な対策を検討する必要があると思います。</p>	<p>1・2. このページでは、歳入の現状と課題について、現時点での最新データを用いて分析を行い、他市と比べて多いもの、少ないものの要因を調べたうえで、中期的に取り組むべき課題について記載しています。また、時系列分析については、進行管理を通じて今後対応を検討していきます。</p> <p>3. 単位（円・%）→単位（円）に修正します。 また、人口1人当たり歳入の状況→令和元年度の人口1人当たり歳入の状況、に修正します。</p> <p>4. P3については、データの構成上横に長くなってしまうことから、やむなく2段組としておりますが、表の間に余白を入れて改善を図ります。P5については、対象とする歳入と対</p>

		<p>3. 記載の表について改善して欲しいです。 (ア) 単位 (円・%) の意味が分からない。 (イ) 記載の数値の期間 (年間?月当たり?など) がわからない。</p> <p>4. 表について、2段組の表を記載されているが読み取りにくいです。見やすく理解しやすいように改善して欲しいです。</p>	<p>象外とする歳入を分けて、見やすくなるよう修正します。</p>
3	p5 の 4. 目指すべき目標	<p>令和元年度と比べて増加という定性的な目標で、楽な目標かチャレンジングな目標かどうかわかりません。目標値について再考する必要があると意見します。</p> <p>もう少しかみ砕くと、令和元年度より多かったら良いという目標が適切かどうかわかりません。課題設定があいまいなため、ふんわりとした目標になっていると感じます。課題設定からやり直し、目指すべき目標を設定する必要があると意見します。</p>	<p>ここでは全体を包括する形で「増加をめざす」と記載しておりますが、具体的な目標値は以下に続くページでテーマごとに目標を設定していますので、そのことが分かるよう記述を追加します。</p>
4	p5 の 3. 対象・対象外の一覧について	<p>非常に説明的な一覧ですが、読み手として理解するのに非常に時間と労力が必要なので一覧の可否を含めて何を伝えたいのか?何を書くべきか?を検討する必要があると意見します。</p> <p>かみ砕くと、下記の2点の改善点を意見します。</p> <p>1. 一覧から抽出して羅列した内容なので、非常にわかりづらい。また、何のために記載しているのかわかりにくいです。</p> <p>2. 対象・対象外の区別が一覧でも表でも理解しづらく、対象の各項目の優先度や重みがわかりません。</p> <p>何から取り組むべきか?何をどれぐらい取り組むべきかを課題設定から緊急性や重みづけを行い再考する</p>	<p>1. 対象とする歳入と対象外とする歳入を分けて、見やすくなるよう修正します。また説明についても、対象のものと対象外のものでまとめ、読みやすくなるように修正します。</p> <p>2. 歳入費目ごとの優先順位付けは行っておりませんが、市の歳入の中にはさまざまな歳入があり、戦略を立てて歳入確保に取り組むことに適する歳入と適さない歳入がありますので、このページは対象とする歳入と対象外とする歳入について分類しています。</p>

		<p>必要があると意見します。</p>	
<p>5</p>	<p>P6 の第 4 章 歳入確保の 取組み ①基 礎的な歳入 の着実な確 保について</p>	<p>記載内容の優先度が設定されていないので、テーマ 1 に記載の内容が最初に来る理由が分かりません。課題から効果や優先度を検討し、テーマと順序（優先度）を検討する必要があると意見します。</p> <p>1. 第 4 章に記載されている内容は手の届くやりやすいことから記載しているように見えるので、本件に対する市の姿勢に関して読み手に誤った印象を与えると感じます。テーマの優先度を勘案した記載順に変更されることを意見します。</p> <p>2. ②戦略目標の参考値の他市より収納率が良いなら、これを頑張るよりほかに頑張ることがあるのでは？という印象を受けるので、課題からもう一度優先度を検討して優先すべきテーマを記載したほうが良いと意見します。</p> <p>3. 今後の取組みに記載されている内容について、費用対効果が見えないので取り組むべき内容かどうか判断できません。ですので、取組みに記載されている内容の想定される費用対効果を明記する必要があると意見します。</p> <p>4. 「①基礎的な歳入の着実な確保」が目的なら地</p>	<p>1. それぞれの項目について重要なテーマと認識しております。テーマの並び順については、①基礎的な歳入の着実な確保：現存する歳入（その代表が税や保険料）を着実に確保する（行政の基礎的な活動として引き続き取り組む必要があるもの）②新たな発想による積極的な歳入確保：新しい取組みにより歳入を増やしていく（歳入確保戦略の策定時点における課題認識に基づき当面の重要テーマとして取り組むもの）③市民所得・経済循環の充実による税収向上：税収を増やしていくための取組みを進めていく（中長期的取組み）、という戦略的な構成を考えています。</p> <p>2. 税や保険料などは、それぞれの分野の中での公平性の観点から収納率のさらなる向上に取り組まなければならないという面があります。これは直接には歳入確保とは異なる観点ですが、取組み項目としては外すことができないものと考えています。</p> <p>3. 全体の取組みとしては P4 の基本的な考え方に記載しているとおり、費用対効果のバランスを取りつつ取組みを進めていきます。</p>

		方税の税収を増やす方法検討の重要性が高いと意見します。	4. このテーマでは収納率の向上を戦略目標としていますが、ご指摘のとおり税収を増やす方策も非常に重要と考えており、この方策については第4章 ③市民所得・経済循環の充実による税収向上、において取組みを進めていきます。
6	p 6②戦略目標	<p>記載の数値目標が適切か判断できません。再考を意見します。</p> <p>1. それぞれ 0.7~0.4%程度の向上値を戦略的目標と記載しているが、戦略目標というほどの数値なのか？が理解できません。ハードルの高さや目標値が適切な理由の記載を意見します。</p> <p>2. 数値的な情報が記載されていないので、収税率を 0.7%上げるより、全体の税収を数パーセント（1%以上）増やすことに取り組んだほうが効率的と考えてしまいます。税収を上げることと収税率を上げることに関する優先度について考え方を記載いただくことを意見します。</p> <p>3. 本資料は「豊中市の歳入確保戦略」の素案ですが、財務部税務課の施策（計画）の目線で記載されているように感じます。市全体の歳入確保に関する取り組みとして中長期的な戦略検討を行っていただきたいと意見します。</p>	<p>1. 税や保険料負担の公平性を考えれば、収納率は 100%が望ましいですが、現実には様々な理由により負担が困難である方がおられます。収納率の改善とともに、当事者の生活再建も意識して取り組む必要があることから、収納率を上げることは簡単ではない状況ですが、これまでの取組みによる収納率の向上実績や他市状況、社会情勢などを勘案し、実現すべき水準を目標値としています。また、例えば市税収納率であれば 0.1%向上すれば約 7,000 万円の収入増となり、貴重な財源となります。このような背景があることから、目標値が適切な理由の記載は難しいと考えています。</p> <p>2. P6 のテーマ「公平・公正な課税の推進、債権回収整理の高度化」ではより適正な課税及び収納率の向上を、また P13 ~P14 のテーマでは市民所得・市内経済循環の充実により税収を上げることをそれぞれ目標としています。市では様々なセクションで収入増につながる取組みを行っており、それぞれの使命に対して最善を尽くすために、各セクションがそれぞれのテーマに沿って取り組むことが重要であると考えています。</p>

			<p>3. P6については課税の適正化や収納率の向上をテーマとしているため、税担当部局と調整してこのページを作成していますが、全体を通じて国費・府費・地方債財源の活用や寄附文化の醸成、税収の向上など幅広く触れており、豊中市として中長期的に歳入確保に取り組む姿勢を示したものであると考えています。</p>
7	P13,p14 第4章 歳入確保の取組み ③ 市民所得・経済循環の充実による税収向上	豊中市の歳入確保の取組みとしては p13,p14 の内容を重視し、データに基づき重点的に検討すべきと意見します。	ご指摘ありがとうございます。今後税データの分析を行い、この戦略に沿った取組みを推進していきます。